

事業所における自己評価総括表(公表)



COMPASS 発達支援センター別府

○事業所名	COMPASS発達支援センター別府			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月17日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通い、成長を実感でき、安心して利用していただける事業所であり続けられるよう、法人内の連携体制を活かしながら専門性の向上に努め、法令を遵守した安定した運営を継続してまいります。
2	利用開始後、発語や語彙の増加、他者とのコミュニケーションの向上、生活動作の習得など、成長が見られるとお声を保護者様から多くいただいております。 個々の発達段階や特性を踏まえた支援をおこなうことで、児童一人ひとりの「できた」を積み重ねていくことを大切にしております。	児童一人ひとりの興味や発達の段階に応じて、個別支援計画に基づいた活動内容を設定しております。遊びや日常生活動作の中に「言葉のやり取り」や「人との関わり」を取り入れ、楽しみながら学べるよう工夫しています。 また、支援中の小さな変化も職員間で共有し、家庭での様子とも照らし合わせながら、継続した支援につなげていきます。	今後は、より多様な表現や社会的スキルを育てるために、集団中でのやり取りや協働活動の機会を増やしていく予定です。 保護者様との情報共有をこれまで以上に密におこない、ご家庭と連携しながら一人ひとりの成長を支えてまいります。
3	地域で開催される催し物にお声掛けいただくことが多く、また近隣施設への見学にも足を運びやすい立地のため、事業所の外や地域の中で利用児童がさまざまな経験や交流をおこなえる環境が整っております。	近隣の水族館や遊園地、キッズスペースの方々と連絡を取り合い、幼稚園や保育園がお休みの日には積極的に足を運ぶようにしております。 得られた情報は可能な限り共有し、児童の興味・関心の幅がより広がるよう日々情報収集に努め、さまざまな活動への参加を検討しております。	地域の行事や体験活動への参加については、開催時期や職員体制との調整が課題となる場合もありますが、年間計画の段階から余裕を持ったスケジュール調整を行い、保護者様への希望確認も踏まえながら、可能な範囲で参加機会を広げてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流や近隣の学校・園などの外部の児童との交流については、現時点では開催・参加ともに実施できていない状況であり、今後の課題となっています。	外部との交流にあたっては、怪我やトラブル発生時の対応への懸念や、通所について周囲へ知られたいと考える保護者様の意向もあり、慎重な対応が必要な状況です。そのため、現時点では積極的な交流の場の設定に至っておりません。	保護者様の理解を得られないまま当事業所主催で交流をおこなうのではなく、まずはご希望のあるご家庭の児童とともに、地域で既におこなわれている行事や活動に参加させていただくことから始めていきます。 その際の活動の様子を他の保護者様にもお伝えしながら、地域との関わりに対する安心感を持っていただけるよう努め、少しずつ交流の機会を広げていけるよう取り組んでまいります。
2	保護者会の開催や保護者様同士の交流の場を当事業所として設けることができず、そのため家族支援プログラムやきょうだいへの支援が十分とは言えない状況です。	保護者様同士が交流できる場を設けることは望ましいとの意見が職員間でも上がっておりますが、事業所の立地上、全ての保護者様に駐車していただける十分なスペースがなく、現時点では開催に至っておりません。 また、保護者様のお仕事・ご都合、職員体制の面からも十分な時間を確保して実施することが難しい状況です。	事業所内での開催に限らず、学校休業日等の外出行事に保護者様やきょうだいに参加いただく機会を設けるなど、段階的な取り組みから始めてまいります。 また、掲示物やオンライン等を活用した情報共有の仕組みづくりも検討し、保護者様同士のつながりを支援してまいります。
3	事業所の立地上、テラスで遊ぶ児童の声や安全装置作動時の音、また送迎時の駐車位置などについて、近隣の方からご意見をいただくことがあり、地域の皆様への理解促進と配慮が今後の課題となっています。	テラスでの活動を行う際、保護者様のご希望によりお子様が苦手なことにも少しずつ挑戦する時間を設けていることや、特性により泣き声が聞こえることがある点についても事前の説明が不足しておりました。 安全装置の作動音や保護者様の送迎時の駐車についても、開所時のご挨拶以降は近隣の皆様へ適宜お知らせすることができず、地域の皆様への配慮や情報共有の面で課題が残っています。	近隣の皆様へ定期的なご挨拶や情報共有を行い、活動内容や環境の変化がある際には丁寧な説明を心がけてまいります。地域の皆様のご理解を得ながら、安心して療育支援を実施できる環境づくりに努めてまいります。

